

## 第7期福島県情報化推進計画「(仮称)福島県デジタル化推進計画」(案)についての意見と県の考え方

No.	章・節	ページ ・行	意見の内容・理由	県の考え方
1	第3章 第2節	15 ページ 465 行目	<p>教育・人財育成において「ICT利活用」を初めとした「プログラミング」や「STEAM教育」に対応した専任教員の確保が必要であり、教員採用選考や講師等募集の手続きも、「GIGAスクール構想」と併せて「Webシステム」による「オンライン手続き」の実現や「Excelフォーム」または「Googleフォーム」での書類作成の大幅な負担軽減など、「雇用面」と「事務の簡素化面」両輪で改革すべきである。</p> <p>「コロナ禍」の学校現場では、「GIGAスクール構想」を始めとした様々な新しい施策の対応に追われ、喫緊の課題である「人員不足」は勿論、「インフラ面」が追いつかず、「教員個人の献身的や創意工夫」に委ねられ、逼迫・疲弊の状態にある。変化の激しい時代を生き抜く人財育成を実現すべく、県・市町村のリーダーシップによる「雇用」と「インフラ」の抜本的解決が必要である。</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>教員採用選考や講師募集のオンライン手続きについては、今後検討してまいります。</p>
2	第3章 第2節	16 ページ 476 行	<p>「女性向け講座の開催によるリカレント教育(学び直し・生涯学習)等、女性のデジタル人材の育成も図ります。」について</p> <p>小中学校での教員不足が問題となっておりますが、現在の長時間労働では女性は育休明けも働き続けることは困難だと思われまます。教育実習をして、現場の状況を見て、自信をもてないケースもあります。デジタルドリルの活用等でIT化を進め、教職員の働き方改革をすすめてください。クラス担任が休んでも、管理職やSSSさんなどが校務支援ソフトに出席入力をするなど、担任の事務処理負担軽減を進めてほしいです。教材費の集金やPTAへの連絡文書・封筒作成なども教員や管理職がしなくてもよいのではないのでしょうか。学校評価アンケートもGoogleフォーム等を使えば簡単にすむのに、管理職が手入力し、</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>スクール・サポート・スタッフ(SSS)の業務内容については、入力作業等に関する補助も含まれているため、教員の事務処理負担軽減にもつながっていると認識しております。</p>

No.	章・節	ページ ・行	意見の内容・理由	県の考え方
			<p>文章作成する必要はないと思われます。</p> <p>やむを得ず学校を休んでも、そのフォローを誰もしてくれないのでは、休むことさえできません。</p> <p>県内の教員の負担の多くは授業や授業準備ではなく、事務処理の多さです。また、教員もパソコン入力に長けてはいません。SSSさんなどを活用し、校務支援ソフトへの入力、事務処理軽減に努めてほしいです。</p> <p>教育実習も県で授業動画を作成し、一部でもオンラインで受講できるようにすれば、新たに教員になろうとする女性も増えるのではないのでしょうか。福島県内は、民間から教育に転職する人がすくないので、業務の情報活用においてもとても民間格差を感じます。社会に適合した教育を行うためにも、民間での職業経験をえた人材を教育の場へ送り出す必要があります。教育学部出身以外の専門知識を教育現場へ届けるためにも、教育現場の密な人間関係の弊害を防ぐためにも、教育実習をオンライン化し、就業中でも先生への道が開かれるようにしてほしいです。国家試験もスクーリングをオンライン化しているものが多くあります。教員の節目研修で、民間企業での研修を課している教育委員会もありますが、知り合いの個人事業主に研修したとして判子をおしてもらったと吹聴している教頭先生もいるくらいです。教員免許更新講習も放送大学で受ければ、ビデオを早送りして、番号を控えるだけだと、満足に研修をうけていない教員もいるようです。民間の視点を公務員教員の中に入れないと、とても世間ずれしてしまいます。</p> <p>また、養護教諭も期間任用の場合、次の契約期間まで○週間以上開けなければいけない等、行政独特のルールがあり、その間、養護教諭が2週間以上不在ということが多いようです。養護教諭不在期間が多くなると、教員の負担も多</p>	

No.	章・節	ページ ・行	意見の内容・理由	県の考え方
			<p>くなります。このようなことがないよう、担当校を数校持つ養護教諭をつくるなどの仕組みをつくってほしいです。</p> <p>支援員の担い手も少ないのも、満足な研修もなく特別支援児を担当させられることとなります。オンライン等で十分な研修を行う必要があります。</p>	
3	概要	2 ページ ① 行政の デジタル 化	<p>県立高技の入試手続きをオンラインで行えるようにしてほしいです。中学教諭が県立高校に持参するのは、郵便技術が進んだ現代にはそぐいませんし、働き方改革に反します。千葉県では郵送です。中学教諭が生徒の願書の写真を切り張りしたり、願書を手書きする必要があるでしょうか。また、県立高校の入学手続きに証紙や銀行に振り込んだ用紙を貼り付けなければいけない、個人の環境を記入するのも手書きでなく、オンライン上で行えるようにすれば、事務職員の負担軽減にもなり、無駄な人件費を税金として払わなくて済むのでこれらを改善してほしいです。</p> <p>運転免許証の紛失・再発行手続き・更新を少なくとも6方部で行えるようにしてください。いわきに住んでいると、郡山まで無免許で行かなければいけません。</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>県立高校入試については、中学生の進路を左右する大切なものであるため、入学願書は中学校が責任を持って出願先高等学校に持参し、高等学校では内容を確認して受理することとしております。</p> <p>運転免許申請等に関するデジタル化については、県民の皆様の利便性の向上に向け、検討を継続してまいります。</p>
4	概要	2 ページ ④ 地方創 生・関係人 口の創出	<p>首都圏等の企業は、教育（全国学力調査の結果）・デジタル教育の推進がどれだけ進んでいるかを HP で確認し、企業進出しています。現在の居住地と文化・生活様式があまりにも離れている場合、躊躇すると思われれます。積極的にアピールをお願いします。</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>県内7地区の教育事務所域内での取組の状況や成果等について、ホームページ等で発信しております。</p>
5	概要	2 ページ ⑤教育・人 材育成	<p>小・中・高校段階での情報モラル教育、情報教育計画、プログラミング教育の策定を県で行い、市町村にもその策定をすすめてほしいです。これらがなければ、担任教師毎、学校毎に差が生まれてしまいます。教育格差がさらに広がります。教諭への ICT 研修を行いその受講歴をアンケートフォームで確認し、</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>本年度より ICT 活用と情報モラル教育の事業を立ち上げ、取り組んでいるところであります。</p>

No.	章・節	ページ ・行	意見の内容・理由	県の考え方
			<p>確実に全員が受けるようにしてほしいです。節目教育等、ICT研修を受ける機会がない教諭が担当になった生徒は、一人一台端末の恩恵を受けられず、30年以上も前から行われている授業を受けなければなりません。全ての教諭が指導する上でのICT活用チェックポイントを定め、それをクリアするようにしてほしいです。それが難しいのであるなら、ICTサポーターを活用するようになど、特別支援クラスの支援員と同じように当たり前に活用されることを願います。PC操作手順を先生の画面で説明し、その画面を生徒パソコンに投影する授業をされている先生もいるようですが、生徒パソコンへのタイムラグを確認し、正しく生徒に伝わっているかを確認してほしいです。5～20秒以上もタイムラグがあり、先生が言っていることと、生徒のしている画面が違うのでは指導にはなりません。パソコンを使った授業では、生徒の画面を確認するようにしないと、先生への不信感が増すのではないのでしょうか。中学では、授業中に先生に対して「(画面が正しく表示されないの)わかりません」とはいえる関係性は保証されていません。そのようなことを先生にいったら、授業妨害や、ちゃんと聞いていない生徒というレッテルを貼られ、生徒が損をするだけです。「相模原市 教育の情報化」「さがみはらGIGAスクールハンドブック」を参考にしてほしいです。</p> <p>コロナになり、学級閉鎖・学校閉鎖になっても子どもたちの学びを止めないようにお願いしたいです。担任の先生一人一人がオンライン授業の準備をしていては、効率も悪いので、福島県として単元別授業動画を作成してほしいです。教室に入りにくい子どもへの配慮が、教員のICT能力・地域インターネットネットワークの速度の差に直結しています。県として、この格差をなくすために、不登校対応のオンライン学校作り、オンライン専門先生が生徒が教室へ入れる</p>	<p>県立高校については、無線LAN環境を整備したところであり、ICT教育の推進や令和4年度新入生からの1人1台端末環境のスムーズな開始のため、全県立高校にICT支援員を配置しております。</p> <p>市町村立学校のICT支援員の配置やインターネット環境の整備については、設置者である市町村教育委員会で判断し対応するものと考えております。</p>

No.	章・節	ページ ・行	意見の内容・理由	県の考え方
			よくなるまでのつなぎをしていただきたいです。	
6	概要	2ページ ⑨ デジタル デバイス 対策	小・中・高校での通信環境を確認し、クラウドを利用した教育が全教室で同時に行えるくらいの通信環境をお願いします。学校の規模ごとに通信帯域を用意し、学校毎のデジタルデバインド解消もしてください。お願いいたします。他のクラスへのネットワーク負担を配慮して、PC 活用の授業をしなければいけない環境では、活用されることは期待できません。	御意見ありがとうございます。 県立高校の通信環境は、個人所有による1人1台端末利用の全学年での一斉運用が令和6年度からであり、今後の状況を確認する必要があります。 市町村立学校の通信環境の整備、改善に関しては、設置者である市町村教育委員会で判断し対応するものと考えております。
7	概要	2ページ ⑩ 情報セ キュリテ ィ対策・個 人情報保 護	学校教育で、「著作権」についての教育を小学校段階から進めてほしいです。この概念がないと、情報モラル教育が成り立ちません。学校図書館内にもWORD、EXCEL、PowerPoint、OS、プログラミング、情報モラル、情報セキュリティの本をおき、生徒が自学出来るように環境を整えてほしいです。	御意見ありがとうございます。 学校図書館の整備、充実に関しては、設置者である市町村教育委員会で判断し対応するものと考えております。